

3. レポート資料の探し方

資料には、図書と雑誌論文・新聞記事等があります。レポートを書く時には、テーマを絞り込んだり、テーマについて深く調べるために、それらの資料を用います。資料を探す時には、目的と資料の種類に応じて、適切なデータベース等を使いましょう。分からないことがあれば、図書館で相談しましょう。

図書を探す

テーマに関する入門書・基礎用語を調べる

新書マップ <https://shinshomap.info>

キーワード入力で様々なデータベースから図書を探すことができます。新書に限定した検索が可能です。

Webcat Plus <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

「連想検索」では、自分が選んだ言葉の集まりをたよりに関心に近い本を探します。

JapanKnowledge Lib ●

日本大百科事典や現代用語の基礎知識、大辞泉などの事典・辞書を中心に、横断的に用語等が検索できます。

テーマに関する資料を探す

OPAC(立教大学図書館蔵書検索) <https://opac.rikkyo.ac.jp/opac/>

関連する参考文献を探すときは、キーワード(内容に関連する用語)を入れてみましょう。ヒットした件数が多いときは、複数の言葉を入れて絞り込みましょう。

bookplus ●

日外アソシエーツ提供の国内最大の図書情報データベース。

👉 テーマの絞り込みや関連資料の探索には、図書館にある専門辞典も利用しましょう。(例：経営学辞典、哲学事典等)

雑誌論文を探す

テーマに関してどのような研究が行われているかを調べる

CiNii Research ●

国立情報学研究所(NII)による論文、博士論文、研究データ、図書・雑誌等の検索システム。

magazineplus ●

国内最大の雑誌・論文情報データベース。雑誌記事情報、人文社会系の年次研究報告や学術論文の論文タイトル情報、国立国会図書館の雑誌記事索引ファイルも収録。

WorldCat ●

アメリカのOCLC(Online Computer Library Center)が提供する、主に英文誌のデータベース。

ingenta connect <https://www.ingentaconnect.com/>

海外雑誌の文献データベースで、学術論文の見出しなど書誌検索を無料で行えます。

Google Scholar <https://scholar.google.co.jp/>

学術出版社、専門学会、プレプリント管理機関、大学、およびその他の学術団体の学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索でき、学術研究資料の中から最も関連性の高い資料を探し出すことができます。

ここに記載したものは、
図書館HP(リサーチツール)からアクセス可能
⇒<http://library.rikkyo.ac.jp/librarypress/search/>

●のデータベースは学内で大学のネットワークに接続して利用しますが、大学のネットワークへの接続設定をした上で、学外から利用できるものも多くあります。なお、●がついていないデータベースは併記したURLから直接アクセスできます。

READ

Rikkyo Educational and Academic Discovery Service

図書や雑誌論文等を一度に探す

立教大学が所蔵する図書・雑誌やオンラインデータベース、電子ブック、電子ジャーナルなどを一つの検索窓から一括で検索し、信頼性の高い情報へ素早くアクセスすることができる統合検索システムです。図書館ホームページから利用できます。

※国内新聞記事データベースなど、一部検索対象にならないものがあります。



(立教大学図書館HP)

新聞記事を探す

世界の情勢や過去の出来事に関する記事調べる

日経テレコン21 ●

日本経済新聞社の各種新聞(日経、日経産業、日経MJ、日経金融)記事が検索できます。

聞蔵Ⅱビジュアル ●

朝日新聞、Asia & Japan Watch の記事が検索できます。

産経新聞データベース ●

産経新聞の記事が検索できます。

ヨミダス歴史館 ●

読売新聞、The Japan Newsの記事が検索できます。

毎索 ●

毎日新聞、The Mainichiの記事が検索できます。

Nexis Uni ●

The New York Times、Los Angeles Times、USA TODAYなど、世界各国の新聞記事が検索できます。

立教大学図書館に資料がない時は…

立教大学図書館山手線コンソーシアム検索

<https://opac.rikkyo.ac.jp/hybrid/>

山手線沿線の私立9大学では、特別な手続きなしにそれぞれの図書館を利用することができるコンソーシアムを形成しています。利用方法の詳細については、下記URLから確認しましょう。

<http://library.rikkyo.ac.jp/service/yamanote/>

CiNii Books <https://ci.nii.ac.jp/books/>

探している図書が、国内のどの大学図書館や研究機関に所蔵されているか調べることができます。

図書館のレファレンスサービス

所蔵されている図書館が分かった場合は、カウンターで、どのようにすれば閲覧できるのかを質問してみましょう。

学生希望図書

<http://library.rikkyo.ac.jp/learning/kibou/>

必要な図書が所属するキャンパスの図書館に所蔵されていない場合、購入を依頼することができます。

ラーニングアドバイザーに相談することができます

池袋図書館と新座図書館では、大学院学生が図書館を上手に利用した学習の仕方やレポート・論文作成についてのアドバイスを行っています。情報収集やレポート・論文作成で困った時は、相談してみましょう。

このサービスの実施期間・受付時間等の詳細は、図書館ホームページで確認してください



ネット検索時の注意

インターネット検索をするときに最も注意すべきことは、情報の信頼度・信憑性です。ネットの情報を参照する際には、下記の点を心掛けましょう。

- 「情報源(大学、研究所、政府機関、マスコミ、個人など)」を確認し、その信頼性を考慮して情報を用いる。(インターネット上の情報を用いる場合の引用方法については、「7.文献表の書き方」を参照しましょう)
- 「情報そのもの」の信頼性を考慮し、虚偽の、不正確な、あるいは歪曲された情報は用いない。
- 匿名性が高い情報源(例:ウィキペディア)の情報を用いる際には、上の2点について十分に注意する。